

一般質問

鳥飼 年幸 議員  
市民グループ未来の会



本市の障がい者スポーツに  
対する考えは

**Q** 東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づき、障がい者スポーツに対する国民の関心も高まる中で、県内他市においては障がい者を対象としたスポーツ教室を実施しているが、本市の考えをお伺いする。

**A** 三豊市など県内のいくつかの市では、かがわ総合リハビリテーション福祉センターやスポーツ推進委員と連携してバドミントン等のスポーツに取り組んでいます。障がい者のためのスポーツ教室は、障がいのあるかたの健康づくりや社会参加の促進に有効な取り組みの一つと考えており、今後、関係部署と共に検討したいと考えています。  
(健康福祉部長)

質問の項目  
・府中湖カヌー競技場の整備  
・図書館の開館時間延長を  
・旧学校施設の活用について

まなとピアの本旨に  
立ち返り、生涯学習の  
さらなる推進・啓発を

**Q** これまで25回にわたり開催されてきたまなとピアフェスティバルは、近年は協賛事業が主となり、公民館の自主グループ等の活動が内輪だけの発表の場となっている。各グループに効果的な発表の場を提供し、生涯学習の推進と啓発を行うべき。

**A** まなとピアフェスティバルは、市民自らの手で参加する機会をつくり、健康で心豊かな街づくりの第一歩として開催されましたが、規模の拡大に伴い、協賛事業や飲食ブースの出店など本来の趣旨と異なる部分も増加し、各会場間の移動における来場者の安全面も問題となっています。

今年度からは、  
原点に立ち返って規模や内容の見直しを行い、市民の方々が共に学び、体験できる事業として開催し、生涯学習の啓発活動に努めます。

(教育長)



出田 泰三 議員  
市民の声



熊本地震を教訓に市職員の  
安全対策を

**Q** 熊本地震ではいくつかの自治体の庁舎が使用不能となり事務に支障が出ているが、老朽化の進んだ本市庁舎も同様の危険がある。特に日中に地震が起きれば職員にも被害が及び、以後の復興にも影響するため、職員の安全対策を早急にすべき。

**A** 被災後の事務遂行のためにも職員の安全対策は重要と考えています。現在、ロッカーなどの転倒防止策や避難経路の確保、日常の避難訓練など総合的に取り組んでいます。職員向けのヘルメットの配備についても今後十分に検討していきます。  
(総務部長)

質問の項目  
・防災公園の整備促進  
・住宅耐震化への補助拡充  
・四国への整備新幹線導入

にぎわいづくりのため  
イベントカレンダーの充実を

**Q** 本市ホームページのイベントカレンダーは、他市に比べて掲載されているイベント数が非常に少ない。広報さかいでに掲載されているイベントのうち、にぎわいづくりに役立つような情報は積極的に掲載すべきでは。

**A** 当該カレンダーを有効活用するため、市主催以外のイベントについても掲載をしているところですが、機能的な問題で、ホームページ内にイベントを紹介するページが無ければ掲載できない状態となっています。今後、より多くの情報をわかりやすく掲載できるよう各課に周知を図るとともに、機能面についても検討していきます。  
(総務部長)

